

モンバサ港周辺道路開発計画プロジェクト（有償事業案件）

（１）事業背景

ケニア第二の都市であるモンバサは、東アフリカの玄関口である東アフリカ最大の物流拠点であるモンバサ港を擁する、ウガンダ、ルワンダ、南部スーダンなどの内陸国へつながる北部回廊の起点。

モンバサ中心市街はインド洋に面した島内に位置するが、人口増加に伴い新市街は島外に位置するようになった。近年、新市街の拡大は著しく、島内と本土との接続部において交通渋滞が深刻化。特に、モンバサ南岸部には海峡横断道路が存在せず、現在、往来手段はカーフェリーのみ。同フェリーは、乗船に1～2時間の待ち時間が発生するなど、大きなボトルネックとなっている。

加えて、我が国有償資金協力「モンバサ港開発事業」により、2015年に新コンテナターミナルが完成する予定であり、今後、モンバサ港を起点としたケニア国内及び東アフリカ地域への物流はさらに増加する見込み。

これらを受け、モンバサ南岸部及びタンザニア方面への交通路の確保、市内の交通混雑緩和、及び新ターミナルを起点とする物流円滑化が、現在のモンバサにおける交通面の課題となっている。

（２）事業目的

本計画は、東アフリカの物流拠点であるケニアのモンバサ港周辺において、新コンテナターミナルから北部回廊に接続する道路及びモンバサ湾南岸への道路を建設することにより、物流の円滑化を図ることをもって、同国のみならず近隣諸国を含む地域全体の経済社会発展に寄与することを目的とする。

（３）事業概要

①協力期間 平成24年12月～平成30年8月

②供与金額 276.91億円

③供与条件

- ・（本体部分）金利：年1.2%、（コンサルティング部分）金利：年0.01%
- ・償還（据置）期間：30(10)年
- ・調達条件：一般アンタイド

④事業内容（別添図面参照）

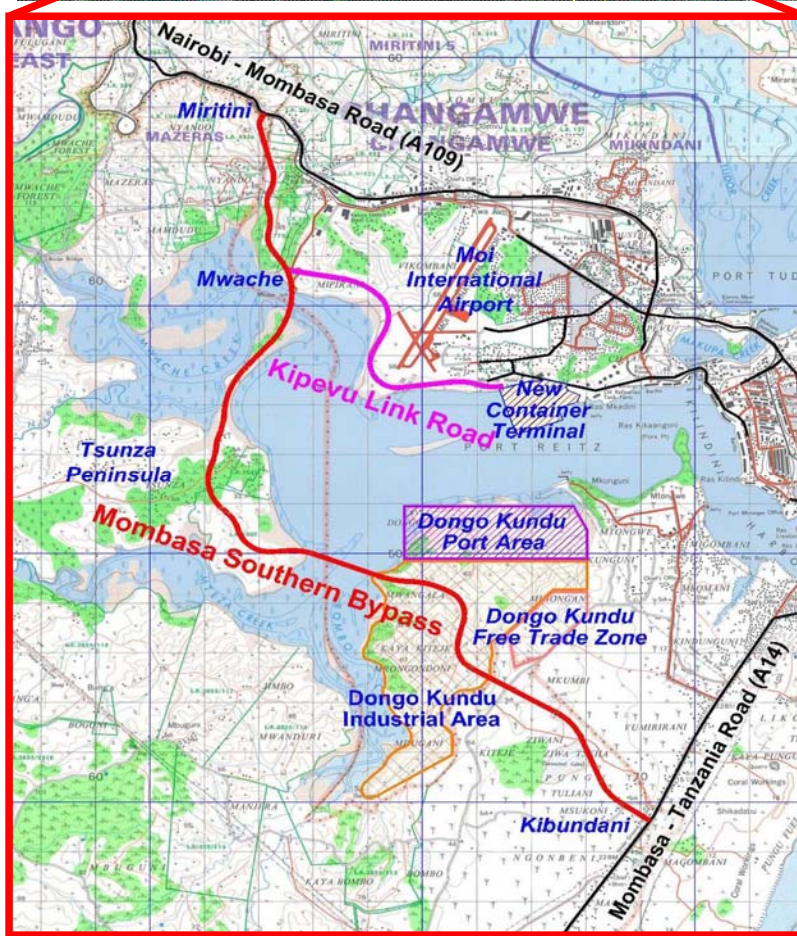
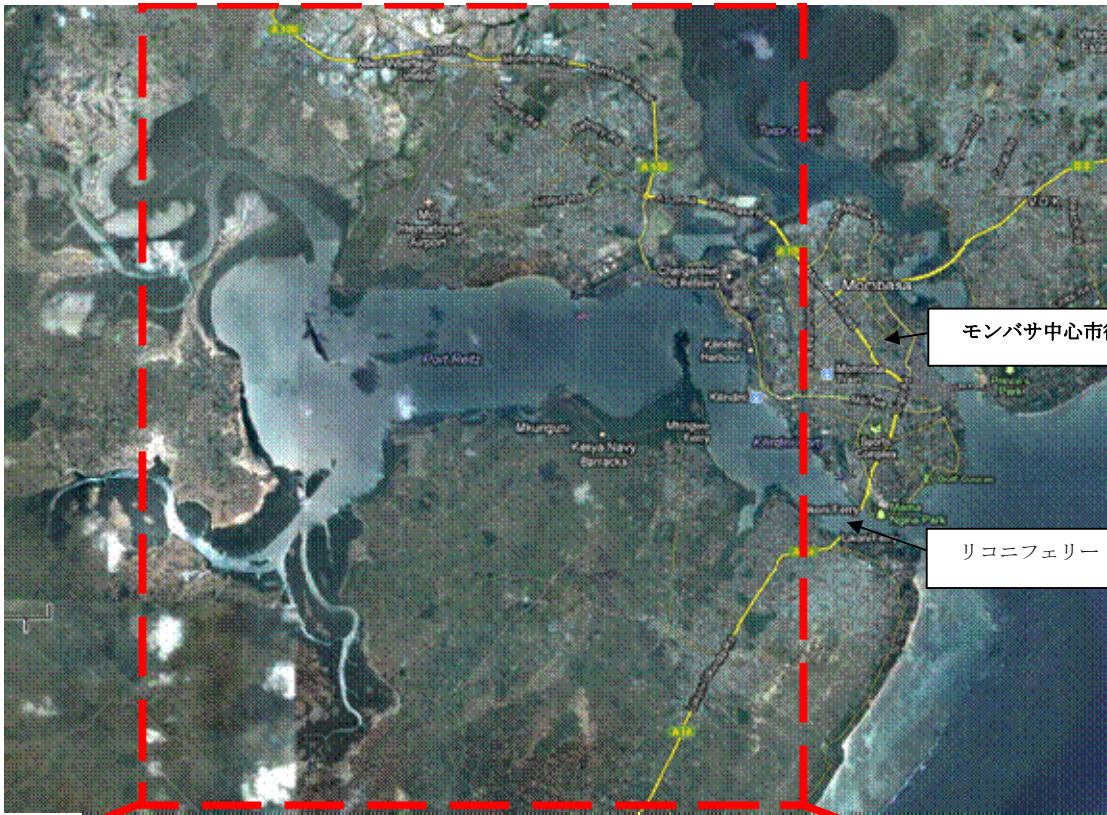
- ・モンバササザンバイパス：19.8km
ミリチニ(Miritini：A109接続部)–キブンダニ(Kibundani：A14接続部)
- ・キペブリンクロード：5.7km
新コンテナターミナルムワチェ(Mwache：上記道路接続部)

⑤事業実施予定機関

ケニア高速道路公社 (Kenya National Highway Authority: KenHA)

（４）備考

- ・ケニア政府側からの本案件に関する円借款要請は2010年6月になされた。
- ・Dongo Kundu 港湾エリアと呼ばれるモンバサ南岸部は、自由貿易港、火力発電所等が計画・構想されているエリア。



モンバサ港周辺道路開発計画位置図